

銚田市商工会青年部会報



微 明

No.33 平成 24 年度版

発行日 平成 25 年 3 月 31 日

編集 銚田市商工会青年部

広報委員会

発行者 銚田市商工会青年部

部長 小橋 一男

銚田市銚田2482-1

TEL 0291-32-2246



二月六日七日と全国の商工会青年部の中で、最も地域に貢献してがんばった単会に部門別表彰するという全国顕彰授賞式に銚田市商工会青年部が選出されました。

その授賞式の為に単会の旅行を徳島とし、今回自分としては初めて単会の旅行に参加しましたが、それは自分の勉強になることの連続でした。当初二十名の参加予定でしたが、最終的に十一名に。残念ながら不参加となった山崎副部長が朝四時集合にもかかわらず、見送りに来てくださいました。銚田を出発したバスはまず潮来へ向かいます。銚田市青年部授賞式の応援の為に県や鹿行の皆さんも応援に徳島まで来てくれるというのです。これにはとても感動しました。総勢三十名以上となった仲間は空の旅、渦潮観覧船を経て午後からの全国大会に参加しました。全国商工会青年部連合会の会長挨拶から始まり来賓の挨拶、そしていよいよ顕彰授賞の時。小橋部長が代表で壇上と呼ばれます。その時、応援の銚田市青年部員が二名ハッピを身にまとい、自分ともう一人が銚田の幟を高々と掲げます。すると鹿行のブロック長の「剣文！銚田が呼ばれたら、せーので『コバリン♪』と叫ぶぞ！』という指示。そして部長が呼ばれると打ち合わせ通り鹿行の皆で「コバリン♪」と叫ぶ。『…全国顕彰という名誉ある賞を受賞したことは大事な宝となりましたが、何よりその瞬間を見に行こうと徳島まで共に応援に来てくれた鹿行の皆さんの気持ちと団結力はもってと大事なものでないでしょうか？』

終了後、銚田市の単会チームは高松へ移動し宿泊。夜は懇談会をし、次の日は朝早くから高

松の寺巡り。鹿行のメンバーで体調を崩した方がいたこともあり途中から別行動となっておりましたが徳島で合流し阿波踊り空港から羽田、飛行機からバスへと帰路につきました。鹿行のメンバーが降りる潮来の道の駅が近づき「もう旅行も終わりだ」と思っていたらこの旅最大のサプライズが。それは、道の駅でバスから降りると、今回参加できなかった潮来市の部員が夜十時半にもかかわらずお迎えに来てくれたのです。しかも、「銚田市商工会青年部 全国顕彰おめでとう!!」という大きな横断幕を掲げて。なんとこの粋な計らいでしょう。小橋部長をはじめ銚田の部員全員が大感激したのは言うまでもありません。鹿行の皆さんの気持ちと団結力を感じ、記念撮影をして銚田へと到着しました。

今回の旅行で二日間ずっと一緒に過ごしたことで銚田の部員のメンバーとの絆も更に強くなったと思います。青年部では「今しか出来ない仲間づくり」というスローガンを掲げています。「仲間」という意味がこれほど濃い組織はなかなか無いのではないかと、そしてその中にある自分は本当に幸せなんだと実感しました。今後も銚田、鹿行、そして県の仲間のためにも益々青年部活動に力をいれることが熱い気持ちをおつけてくれた仲間への恩返しになり、それが地域のためになれば最高な事だと考えます。最後になりましたが、青年部事業に参加していただいた青年部員、事務局の皆様ありがとうございました。



青年部部長 小橋一男

とが決まり、行政や農業生産者一般の方々との親密な関係もとても良い機会になりました。とにかく何もかもが初めての試みで、深夜まで及ぶ会議を何度も何度も重ね、試行錯誤しながら部員一丸となって頑張った結果、素晴らしいイベントとなり大成功を収めました。

そして二つ目が、徳島で行われた商工会青年部全国大会です。この二年間の様々な復興事業が認められ、銚田市商工会青年部が全国顕彰を頂く事になりました。この顕彰は銚田市商工会青年部だけではなく、鹿行商工会青年部の全ての仲間達の絆が形となった賞でした。

徳島での授賞式には鹿行商工会青年部から三十名以上の仲間が参加をして頂き、場内を盛り上げてくれました。また、参加できなかった潮来市商工会青年部の仲間達が、帰りの潮来の道の駅で夜十時を過ぎているにもかかわらず「銚田市商工会青年部全国顕彰おめでとう」の横断幕を掲げて待っていてくれました。バスの中でこっそり泣いたのは内緒ですが、ここ最近では記憶に無いほどの感動を味わうことができました。

私はこの二年間で素晴らしい経験と思い出を残すことができ、これも青年部の仲間と事務局関係者のおかげだと思っております。この思いを今後の銚田市を背負って立つ次期事業主の皆さんにも経験してもらいたいと感じています。

最後にこの歴史ある微明が発行できました事を広報委員、事務局関係者の皆様に深く感謝申し上げます。(部員のみんな！これからも人より遊んで人より働こう！そして去年も言いましたが「今しか出来ない仲間づくり」をしよう！)

(児嶋 剣文)



今年は連休という事もあり十月六日より三日間、鹿島灘海浜公園にて「銚田うまかつペフェスタ'12」が開催されました。今回我々銚田市商工会青年部は「うまかつペフェスタ'12」に初めて参加させて頂きました。今まではお手伝い程度の協力でしたが、今回青年部はイベントの案出しから構成・準備まで色々とたずさわることができました。毎年秋になるとイベントが毎週のように開催され時には重なることもあり集客が課題となっており



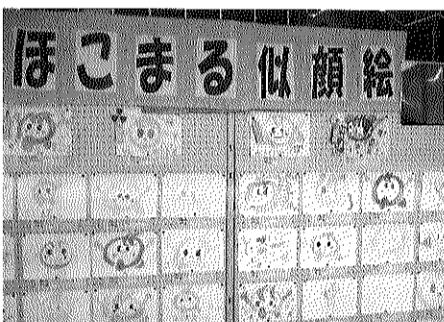
**銚田
うまかつペ
フェスタ'12**
本澤 彦治

した。そんな中、青年部が協力する形で「うまかつペフェスタ'12」に参加する事はできないだろうか？という事を市に相談した所、今まで続けてきた商工祭の実績もあり青年部が実行委員会に加わる事ができました。イベントでは、初日にマグロの解体ショーを行いました。とても大きなマグロの解体に、お客さんの目は釘付け、とても盛り上がり歓声が上がるほどです。解体後のマグロは、お客さんに食べてもらったのですが長蛇の列ができ、初の試みのイベントにもかかわらず大成功でした。青年部ブースでは、「ほこまるの似顔絵コンテスト」、からあげ、フランクフルト、かき氷等の飲食販売を行いました。ほこまるの似顔絵ブースには、子供達がたくさん集まって夢中になって「ほこまる似顔絵」を書いてくれました。似顔絵はブースの近くに張り出したのですが、途中でスペースが足りなくなってしまう、スペースをいくつも追加せねばならなくなったほどです。こんなに人気があるとは大変おどろきました。飲食のブースでは、銀行員さんがお手伝いに来てくれた他、部員の東峰真紀さんのお子さんが、とっても元気にかき氷の販売を手伝ってくれました。さて、今回私が担当したのは三日目に行われた「どんぶりグランプリ」でした。銚田市の名物どんぶりを作るという想いで開催を考え、事前の参加店集めからチケットの作成、参加店の事前説明会など準備より大変でしたが、当日は準備段階の不安がふつとぶくらいお客さんが来場してくれて大盛況で、長蛇の列ができるほどでした。「どんぶりグランプリ」当日には高校生や青年会議所にもお

手伝いただけで開催できたことは、今までの商工会青年部の活動になかった事なのでこのような他団体交流も兼ねた活動を続けていければと感じました。最後に、出店いただいた飲食店さん、当日設営いただいた皆さんに感謝申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。



保育所の鼓笛隊



似顔絵コンテスト



もちまきも大人気



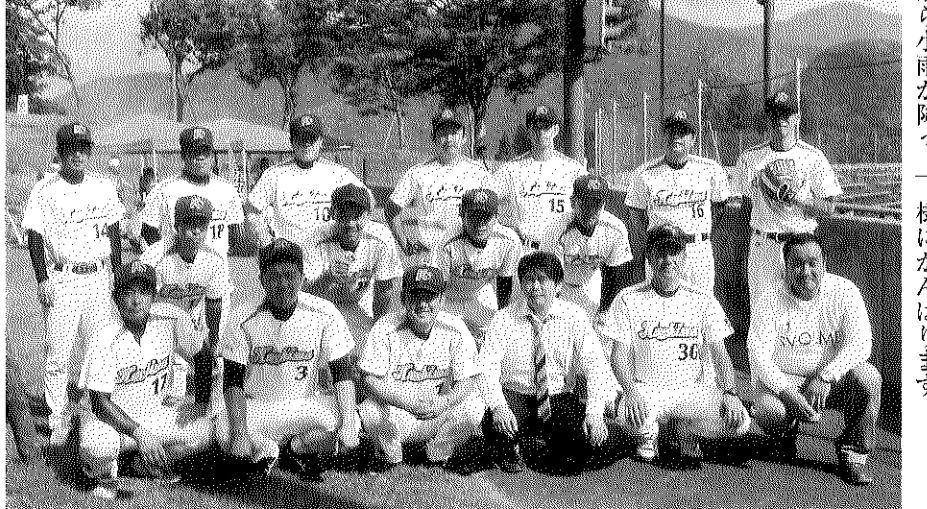
平成二十四年十月二十七日、青年部家族親睦事業を行いました。初めての試みで、準備期間もあまりなかったので手軽にできるバーベキューを行いました。いろいろなイベントや仕事などが重なり、参加したくても出来なかった部員も多かったのですが、部員の家族以外にも、市の職員、市内の銀行員を含め二十五名ほどが参加しました。場所は「ほっとパーク銚田」のバーベキュー施設を利用しました。そこは敷地が広いので、子供達もおもいきり遊べて楽しんでいました。バーベキューは飲食店関係の部員も居たため、普段のバーベキューでは食べられないご馳走がでたりと、かなり盛り上がりました。今回のバーベキューは、部員間の親睦を深める良い機会になりました。毎年開催してよりよい青年部を作っていけたらと思います。

昨年、市大会で優勝している為、推薦によって県大会出場は決定していたので、鹿行の大会は、いつも応援してくれている部員を中心に試合に臨みました。相手は行方市で、惜しくも負けました。惜しいですが、毎年来てくれている試合に出た事が無い部員も試合に出られて、普段出来ない緊張も出来たと思います。そして県大会です。鹿行地区からは、銚田市青年部と鹿嶋市青年部が出場していましたが、トーナメントのブロックが違った為、決勝でしか当たらない組み合わせとなっていました。大会当日、朝から小雨が降っていました。いきなり常総市との試合となりました。常総市は一昨年の県大会を優勝し、関東大会も優勝しているチームです。やはり県大会はレベルが高く、接戦の末勝利が来ました。もう一つのブロックは、鹿嶋市が大洗町に勝ち決勝に上がって来ました。決勝は銚田市対鹿嶋市の鹿行対決となり、雨の試合の出来る状態ではなく、協議の結果、両チーム

バーベキュー大会
中山 惣夫

青年部野球大会 真家 吉貴

優勝となりました。銚田市は県大会連覇する事ができました。関東大会は、銚田、鹿嶋の合同チームで参加する事となり、新潟県魚沼市に行ってきました。初めての合同チームとあって、最初は緊張もありましたが、試合が始まってしまえば、合同チームとは思えないチームとなっていました。結果は、初戦敗退でしたが、すごく良い経験が出来ました。最後になりますが、応援して頂きました諸先輩方、関係者の皆様、大変ありがとうございました。これからも応援、ご協力のほど宜しくお願いします。来年も一戦一戦良い試合が出来る様がんばります。



銚田・鹿嶋合同チーム

卒業 おめでとうございます

今年も5名が卒業されます



葛西商店
葛西 雄一



ライフサポート フダ
札 哲也



ミニストップ銚田店
勢司 雅晴



(有)菅谷商事
菅谷 庄一



(有)クリエイト
深作 和則

早いもので、私も四十一歳となり青年部卒業の歳となりました。思い起こせば青年部への入部は何気なく、「暇な時に出て、知り合いが増えればいいな」くらいの動機でした。親会や事業に参加していく中で、いろいろな経験をさせていただきました。この商工会青年部員としての活動は私にとっても素晴らしい財産であり、これからも一事業者としての指針となっていくことでしょう。

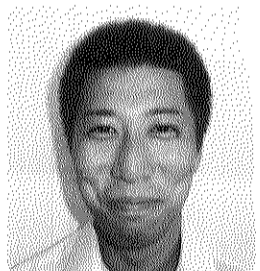
いま、一部明るい兆しが見えたとはいえ長引く不況の中、事業者は大変厳しく疲弊した状況に置かれていると感じます。そのような中でも、銚田市商工会青年部の活動はますます活発で地域の活性化やそこに住む子供たちの未来を思い描いていることが強く伝わってきます。私自身、地域を変える流れを生み出すのは、私たち青年たちの力ではないかと思っています。その思いは卒業後も衰えることなく持ち続け、現役の皆様同様、地域のために何かしら関わっていきたいと思います。

末筆となりますが、今まで支えてくださった先輩方や仲間たち、そしてわがままの残る私に部長としての職責を果たさせて下さいました事務局の方々に、心からの感謝とお礼を申し上げます。卒業の言葉とさせていただきます。誠にありがとうございます。

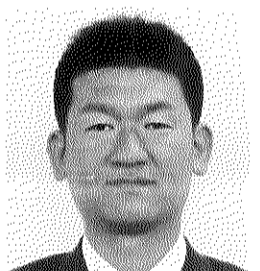
卒業にあたり
深作 和則



酒井建設(株)
酒井 智弘



和風レストラン竹水
石崎 和也

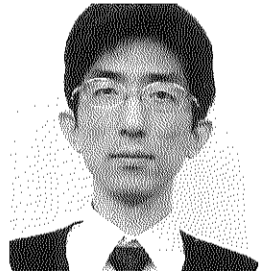


便利屋ダルマ
渡辺 拓哉

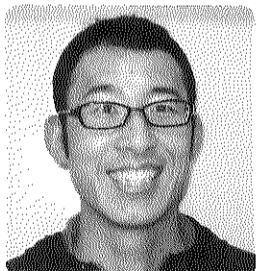


第一生命保険 銚田営業
大林 隆弘

焼き鳥 鳥聖
江橋 幸男



植野司法書士事務所
植野 孝文



仲田精肉店
仲田 雅人

新入部員紹介



平成二十四年十二月十九日(木)白帆カントリークラブにて、第一回銚田市各団体ゴルフコンペを銚田市商工会青年部主催で行いました。

同じ市内で活動している団体同士でありながら中々交流を深めることが出来なかったため、ゴルフを通してコミュニケーションが図れればという思いから今回の交流事業を行いました。

今回、JAかしまなど・旭青年部・法人会青年部・青色申告会青年部・養豚酪農組合・銚田JCの皆様にご協力いただき、大勢の仲間たちに参加していただきました。

ゴルフコンペは大成功。参加して頂いた皆様にも、「他団体の方々を知り合うことができたに良かった」と喜んで頂く事ができました。我々も開催して本当に良かったと思います。

また、団体が異なっても、銚田市に対する熱い思いは皆同じであり、この仲間たちが協力していければ、更に元気な銚田になって盛り上げていく事が出来るのではないかと思います。今回の各団体の交流事業は大成功する事ができました。来年度も継続して各団体が交流を深め、絆を強くしていければと思います。

銚田市各団体 ゴルフコンペ

求む!!
新入部員
私達と青年部活動をしてみませんか
銚田市商工会青年部
ibaraki



編集後記
微明を作る季節が今年もやってきました。何度経っても広報委員の仕事、特に微明の原稿編集作業には、頭が痛い。今年も広報委員会に仲田君、澤幡君という新たな仲間が加わり、慣れない作業の中、先輩部員にアドバイスを受けながら原稿と格闘していました。

各役員、事務局のご協力のもと、今年も微明が無事に出来上がりました。今後とも広報委員会を宜しくお願い致します。
(一洋)